

第4回 食品表示部会(平成22年10月4日)
「【資料4-1】原料原産地表示の義務化に向けて」を修正

原料原産地表示の 義務化に向けて

平成23年5月16日

消費者庁食品表示課

農林水産省におけるこれまでの検討経緯

8品目の表示義務化

平成12年3月「加工食品の原料原産地表示検討委員会」報告

原料原産地表示を行う品目の選定基準

- ①原材料の原産地による差異が品質に反映されるか。
- ②加工の程度が比較的低くおおむね原形をとどめているか
- ③消費者に誤認を与えるような表示実態があるか
- ④他の方法では消費者の誤認を防ぐことは困難か
- ⑤原材料の原産地がある程度一定しているか
- ⑥表示を事後的に確認する手法・体制は十分か

平成12年12月～平成14年8月
8品目につき、
順次表示を義務化

20食品群の表示義務化

平成15年2月～7月 食品の表示に関する共同会議
(第3回、第5回～第8回)

- 原料原産地表示の対象品目選定のあり方及び表示方法について検討。
- 水産庁、冷凍食品業界、豆腐業界、漬物業界から意見聴取。

平成15年8月 共同会議報告書「加工食品の原料原産地表示に関する今後の方向」公表

- 義務表示対象品目の選定については、以下の要件を満たす商品について、表示実行上の問題点等も考慮しながら、表示対象とすべきか否か検討すべき。
- ①原産地に由来する原料の品質の差異が、加工食品としての品質に大きく反映されると一般に認識されている品目のうち、
- ②製品の原材料に占める主原料である農畜水産物の重量の割合が50%以上である商品

平成15年11月～平成16年2月 農水省において、表示を義務付けるべき加工食品の「品目群リスト」を公表し、全国9箇所で開催ヒアリングを実施。

平成16年2月～4月 食品の表示に関する共同会議
(第13回～第15回)

- 「品目群リスト」に加除すべき品目、その他追加の要望のあった品目について検討。
- 日本茶業界から意見聴取。

平成16年9月 加工食品品質表示基準の一部改正、官報告示

緑茶飲料、あげ落花生の追加

平成17年7月～平成18年3月 食品の表示に関する共同会議
(第24回～第28回)

- 原料原産地表示の対象の見直しについて検討。

平成18年4月 共同会議報告書「加工食品の原料原産地表示のさらなる推進について」公表

- 具体的な対象品目の見直しを行うに当たっては、20食品群選定時の基本的な要件(①及び②)に基づき、製造及び流通の実態、消費者の関心、表示の定着状況等を踏まえて判断する。

平成18年6月～7月 農水省において、パブリック・コメントで追加要望があった品目のリストを提示し、公開ヒアリング(東京)、意見募集を実施。

平成18年9月～平成19年3月 食品の表示に関する共同会議
(第30回～第32回)

- パブリック・コメント等の結果を踏まえ、表示対象として追加する品目の候補(緑茶飲料、あげ落花生)について検討。

平成19年10月 加工食品品質表示基準の一部改正、官報告示

消費者と食品事業者との情報共有による信頼関係の構築を目指して 〔食品の表示に関する共同会議報告書(平成21年8月28日)〕の概要

I. 検討事項

- ◆ JAS法に基づく加工食品の原料原産地表示の拡大に向けた表示の方法と品目の考え方について検討
- ◆ 事業者・消費者団体へのヒアリング、2,000人を対象としたウェブ調査や農林水産省ホームページを通じたアンケート調査、全国7か所での地域意見交換会の開催等を通じ、消費者の原料原産地情報への関心、様々な品目における原料原産地表示への取組や課題を把握

II. 原料原産地情報の表示方法

- ◆ 加工食品の原料原産地表示の対象品目を拡大する際の3つの課題を提示し、新たな表示方法の導入を検討

- 課題①: 頻繁な原料原産地の切り替えへの対応
- 課題②: 物理的スペースの制約
- 課題③: 原料原産地情報の分からない輸入中間加工品への対応

①切り替え産地を列挙する可能性表示

商品の内容と表示の内容が一致せず、かえって消費者に誤解を招く情報を与え兼ねないことから、導入することは不適切

②「国産」・「外国産」又は「輸入」といった大括り表示

頻繁に原材料の産地の切り替えが行われる加工食品にも対応でき、導入は適切。ただし、その適用に当たっては、表示の意義、必要性も含め、十分な検討が必要

③輸入中間加工品の原産国表示の方法の導入

原料原産地情報が不明な場合でも対応でき、導入は適切

消費者と食品事業者との情報共有による信頼関係の構築を目指して 〔食品の表示に関する共同会議報告書(平成21年8月28日)〕の概要(続き)

Ⅲ. 義務対象品目を選定する際の基本的な考え方

- ◆ 平成15年8月報告書「加工食品の原料原産地表示に関する今後の方向」では、加工食品の原料原産地表示の目的を、「消費者の適切な選択に資する観点から、商品の品質に関する情報を適切に提供し、加工食品の原産地に関する誤認を防止する」と位置づけ、

要件Ⅰ：原産地に由来する原料の品質の差異が、加工食品としての品質に大きく反映されると一般に認識されている品目のうち、

要件Ⅱ：製品の原材料のうち、単一の農畜水産物の重量の割合が50%以上である商品

との品目横断的な基本的な要件を示した。

- ◆ 共同会議では、義務対象品目選定の際の基本的な考え方を改めて検証し、「要件Ⅰ及び要件Ⅱを基本的に維持すべきものとする」とした。

Ⅳ. 具体的な義務対象品目の選定

- ◆ 義務対象の候補となりうる品目としては、過去に検討した際、消費者等からの義務化の要望が強く、要件Ⅰ及び要件Ⅱを満たすとして認められたものの、原料の産地の切り替えが頻繁である、原料として一般的に輸入中間加工品が使われている等、実行可能性の観点から表示義務を課せられなかった品目が考えられる。
- ◆ 義務対象品目の追加に当たっては、消費者等からの提案があった品目に対し、原料原産地の差が製品の品質に影響するか、生産・加工の実態等を踏まえた上で表示の実行可能性があるか等について、消費者団体、事業者、学識経験者等が公開の場で検討するとともに、地方においても公開ヒアリングを実施したり、パブリックコメントを活用すること等により、幅広い関係者の意見を聴取して検討するという、これまで実施してきた透明性の高い検討プロセスを維持していくことが必要である。

原料原産地表示に関する意見募集の結果概要

平成22年2月23日から3月11日までの間、消費者庁ホームページを通じて、原料原産地表示に関する意見を募集したところ、248件の意見が寄せられた。また、これらの意見を踏まえ、3月29日に東京で意見交換会を実施した。(発言者48名・傍聴者約300名)

原料原産地表示の義務化 の要望が多くあった品目 (第3回食品表示部会にて報告した5品目)

品目名	意見数	うち要望数
昆布巻	89件	86件
果実飲料	17件	12件
黒糖	14件	7件
食用植物油	8件	3件
鰹節	6件	4件

上記5品目以外で要望があった品目

区分	意見数	要望品目等	うち要望数
総論	80件	全ての加工食品	11件
		ジャム、味噌、しょうゆ、食酢、七味、加工わさび、ねりからし、すりごま、いりごま、粉山椒	1件
		インスタ加工惣菜・弁当	1件
その他食品	23件	こんにゃく	2件
		ハム・ソーセージ	1件
		水産物	1件
外食	5件	外食	3件

品目選定の経緯

原料原産地表示に関する意見交換会及びそれに先立つ意見募集において、原料原産地表示を拡大すべき品目について募集を行った。



消費者等の要望が多かった5品目(昆布巻き、果実飲料、黒糖、鰹節、食用植物油)を中心に、選定基準である要件Ⅰ・Ⅱに該当するかどうか確認するため、流通実態調査を行った。

要件Ⅰ：原産地に由来する原料の品質の差異が、加工食品としての品質に大きく反映されると一般に認識されている品目のうち、
要件Ⅱ：製品の原材料のうち、単一の農畜水産物の重量の割合が50%以上である商品



第3回食品表示部会において流通実態調査の報告(7月)



品目	調査結果の概要
昆布巻き	加工工程に具材(ニシン等)を巻いて干びようで縛るといった手間のかかる工程が入るものの、原料である昆布の品質に影響を及ぼすものではないと思われる。 味付け、包装、殺菌等の工程は、原料原産地表示を義務付けている「あげ落花生」等と同様であると思われる。 要件Ⅰ・Ⅱに該当するのではないか
黒糖	さとうきびを圧搾・加熱し、沈殿物を冷却・成型したもので、さとうきびの搾り汁と組成があまり変わらないと思われる。 要件Ⅰ・Ⅱに該当するのではないか
果実飲料	ストレート果汁等果実飲料の種類によっては、緑茶飲料と同様、原料果汁や果実の選定及びこれをブレンド・仕上げする工程が、そのおいしさ等の品質を左右する重要な役割を果たしている場合があるのではないか。 生産流通実態や消費者の関心等を踏まえ、原料原産地表示を義務化すべき果実の種類を絞り込む必要があるか。
かつお削り節	生産工程が複雑であり、かつお削りぶしの原産国のあり方をめぐって様々な議論があることから、引き続き生産実態等の調査を進めることとしてはどうか。
食用植物油	複数の生産工程を経て精製されている実態の中で、原料の産地が品質に大きく反映されると言えるか、整理すべきではないか。

Ⅰ・Ⅱに該当すると考えられる品目について、食品表示部会の審議を経て、平成23年3月31日に加工食品品質表示基準を改正し、「黒糖及び黒糖加工品」及び「こんぶ巻」を対象品目として追加。